

数学2年「三角形と四角形」 S.N教諭

【主体的・対話的で深い学び】

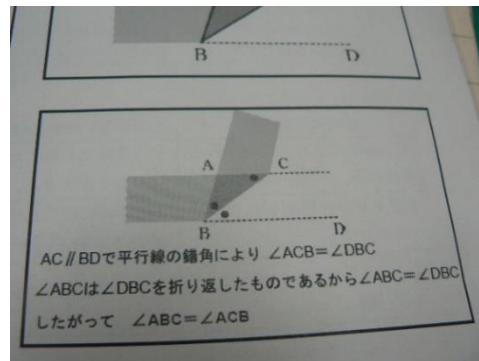
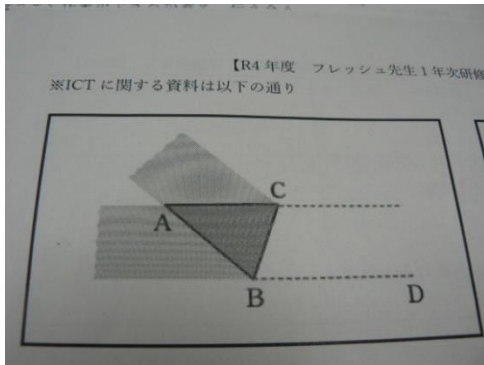
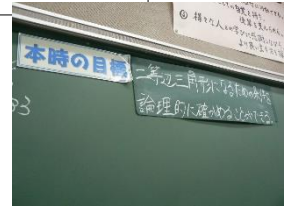
生徒が既に持っている、いい線はいつているが不完全で未整理な知識（具体・特殊・個別）を、生徒自身の力で主体的・対話的に構成（抽象・一般・普遍）していけるように、教師が支える。

直感的な捉え（推測）

↓
 三角形の2つの角が等しければ、その三角形は二等辺三角形である。

論理的な捉え（定理）

等しい2つの角を底角とする三角形は、二等辺三角形である。



紙テープを折ったときにできる三角形ABCが、なんとなく二等辺三角形に見えるものの、それが本当にそうなのかを論理的に確認する。



付箋を使い実際に体験して学ぶ。

作業と説明のバランスで、授業がテンポよく進んでいく。

【授業の流れ】

- (1) 予想を立てる。
- (2) 2辺が等しいという二等辺三角形の定義（結論）を、仮定から結論へと導いていく。

仮定 $\angle B = \angle C$
 結論 $AB = AC$



文章を論理的に読み替えるのがポイント

- (3) 補助線を引くことで、思考にヒントが与えられ、学び合いが始まる。（三角形の合同条件）

本校の今年度の重点目標

【授業改善】「自己との対話から学びを深め、他者を意識した表現を工夫する生徒の育成」

